

こころ  
心の散歩道  
40  
公益財団法人  
モラロジー研究所

# 「まごころ」の力



中国古典の『孟子』に、  
次のような話があります。

——人には皆、他人の不幸を平気で見ていられない心がある。例えば幼児が井戸に落ちそうになっているのを目にしたら、誰もがはつと驚いて、助けようとする気持ちで自然とわき起こるはずだ——

『孟子』ではこれを「惻隱の心」という言葉で表現し、「惻隱の心は仁の端なり」と述べています。仁とは他を慈しむ、深い思いやりの心です。そんな仁の糸口となる温かい「まごころ」の芽は、誰の心の中にもあるというのです。

人の悲しみに接したら、胸が締め付けられるような思いがして、慰めたいという気持ちかわいてくる。困っている人がいたら、何か自分にできることはないかと考える。どなたにもそんな経験があるのではないですか。そんな温かい思いや優しさこそが「まごころ」の芽なのです。

静かに自分自身の生活を振り返ってみましょう。そ

こには必ず誰かの「まごころ」が存在するはずで

自分を生み育ててくれた親祖先や、お世話になった先生や先輩、親しい友人や近所の人など。また、偶然出会った人からの「小さな親切」まで数え上げれば、きりがありません。そうしたことに気づいたら、感謝と共に心の中に芽生える温かい思いや優しい気持ちを大きく育て、自分自身も積極的に行動に表すように努めたいものです。

(参考)モラロジー研究所  
「ニューモラル」五九六号

■公益財団法人モラロジー研究所

千葉県柏市。モラロジーは「道徳」を表すモラルと「学」を表すロジからなる学術名。倫理道徳の研究と、社会教育を推進する研究教育団体です。

【お問合せ】広報出版部  
04-7173-3341

■道徳を考える月刊誌「ニューモラル」最新号贈呈

住所・氏名・電話番号・「なのはなシニア千葉」を明記の上、FAX(04-7173-3324)にてお申し込みください。

わたしたちは、なのはなシニア千葉の活動を応援しています

1ブロック



1430円  
年間購読料(送料込)

定価40円(税込) 86頁 24頁

## 愛され続けて50年!

道徳を考える月刊誌『ニューモラル』

昭和44年(1969)の創刊以来、身近な事例を通して読者の皆様とご一緒に日々の心づかいを考えてまいりました。おかげさまで本年8月、創刊50年を迎えます。

道徳教育のシンクタンク 公益財団法人モラロジー研究所 TEL: 04-7173-3341